



7月7、21日(土)

青島で龍馬を堪能

～龍馬講話と喜界島三味線コンサート～

長浜町青島の魅力を発信することを目的に、「長浜なんとかしようぜ委員会」を主催とするイベントが、青島で行われました。

現地では坂本龍馬との縁、青島の歴史に関する講演があり、史跡なども散策しました。他にも、喜界島三味線と薩摩琵琶のミニコンサートも行われ、参加者は優雅な音色に耳を傾けていました。

このイベントは7月に2回行われ、市内外から多くの人が参加しました。



6月23日(土)

龍馬脱藩の道で国際化？

～河辺ふるさとの宿～

6月20日から24日までの間、河辺ふるさとの宿にフランス人映画監督とプロデューサーご夫婦が宿泊されました。

2人は、映画制作のため来日し、京都市で撮影をしているそうで、休日を利用しての滞在でした。屋根付き橋や脱藩の道を散策したり、龍馬とお龍さんに扮して写真を撮ったり、河辺の自然に大満足していました。



7月21日(土)

たくさんの人でにぎわいました

～道の駅「清流の里ひじかわ」夜市～

肱川町のイベントとして定着した道の駅「清流の里ひじかわ」夜市が、今年も開催されました。

さまざまな出店が立ち並び、ステージ舞台やビアガーデンコーナーを設けて、ステージ上では風神太鼓やアマチュアバンドによる演奏やヒップホップダンス、また肱川町出身の歌手TAKUROさんによる里帰りライブが行われました。

当日は、食券を利用した「お楽しみ抽選会」も行われ、終始にぎわいを見せていました。



7月6日(金)

大洲和紙の魅力を知って

～大洲農業高等学校 生活科学科被服班～

大洲和紙復活への取り組みとして、おはなはん通り休憩所に設置されているランプの衣替えが行われました。

この企画は、大洲農業高等学校の生徒たちが大洲の観光資源の普及や伝統産業の継承・復活を目的に行ったものです。

夏仕様に衣替えされたランプから発する光が、大洲和紙の温かさを演出し、訪れた多くの人の心を癒してくれます。



7月29日(日)

気力をふりしぼりゴールを目指せ ～第18回ジュニアトライアスロン大会～

自分の限界に挑戦しようと、一級河川肱川や肱川緑地公園を舞台に第18回ジュニアトライアスロン大会が開催されました。

さまざまな部に分かれて行われた今大会は、県内外から144人の鉄人たちが参加しました。競技はスイム・バイク・ランなどで構成されていて、参加者は日頃の練習の成果を発揮しようと頑張っていました。

今年で18回目を迎えるこの大会は、大洲市主催で毎年開催しています。



7月27日(金)

日本と韓国の架け橋に ～韓国安山江西高等学校短期研修団 表敬訪問～

帝京富士中学・高等学校の姉妹校である韓国安山江西高等学校の短期研修団15人が、清水市長を表敬訪問しました。

少し緊張した面持ちの生徒たちでしたが、時折投げかけられる清水市長の質問に笑顔で答えていました。

自然豊かな大洲に対する生徒たちの印象は好評で、今後の交流促進につながる大きな一歩になりました。



8月3日(金)・4日(土)

夏を彩る花火の祭典 ～大洲川まつり花火大会～

大洲の夏場最大のイベントである大洲川まつり大会が肱北河原（3日）、肱南河原（4日）で開催されました。

2日間で約4000発の花火が大洲の空を華麗に彩り、見物客からは「きれい」、「すごい」という声がしばしば聞かれ、暑い夏のひとときを楽しんでいました。

市内外から多くの人々が訪れた今回の花火は、「クライマックス 龍馬2012 ～龍馬、時代の風になる～」を基本テーマに行われました。



7月29日(日)

全力で漕げ！焦げ！ ～第17回ドラゴンボート大会～

真夏の太陽が照りつける中、肱川の鹿野川ダムで第17回ドラゴンボート大会が開催されました。

市内外から40チーム総勢452人もの参加者が集い、白熱したレースを繰り広げました。スムーズに漕ぐチームもいれば、スタート早々に旋回してしまうチームがいるなど、予想できないレース展開に会場は大いに盛り上がりました。

肱川を代表するこのイベントは、大勢の人たちの協力を得て、毎年開催されています。

【がんばる市内企業の事業活動や事業展開を紹介します】

葵機工株式会社

～不良ゼロを目指した品質づくりを～



弊社は昭和42年に創業し、平成17年に現在の場所に工場を新設しました。弊社では、エアバッグやシートベルトなどの自動車安全装置に使用される高い信頼性を求められる製品を扱っています。そのため、ものづくりのプロセスを商品と考え、品質システムに従って作業しています。弊社のものづくりは、一日の大半をまったくの無人で行います。そのため、24時間後、48時間後の製品寸法を予測し、その予測通りに造られていることを確認します。製造のほとんどを機械で行う弊社にとっては、非常に大切な管理技術です。

がんばる大洲企業

製造個数の拡大だけでなく、ISO14001を取得し、再利用できる資源の管理・リサイクル・リユースなど、環境に配慮する姿勢も忘れてはいません。現在の経済状況は、自動車業界全体に打撃を与えていて、その影響は少なからず出ています。そんな状況下でもISO9001、TS16949という品質規格の認証を取得し、取引先からも大きな信頼を得ています。今後、信頼性の高い製品を各業界に安定供給し、顧客の安心感・満足度を高めていきます。そして、17人の従業員とともに、ものづくりの楽しさを伝えられるように地域貢献をしていきたいと考えています。



文化財

御幸の橋
愛媛県指定有形民俗文化財
天神社所有



肱川上流の河辺川にかかる御幸の橋は、中央が半円形に反った太鼓橋で、屋根が付いた珍しい形状のものです。このような屋根付の橋は、県内では肱川水系でしか見られないものです。現在、河辺地域には八つの屋根付橋が存在しており「河辺浪漫八橋」と呼ばれていますが、その中でもこの御幸の橋が最も古く明治19(1886)年に完成したと伝えられています。

屋根は切妻造りの杉皮葺きで、欄干には擬宝珠と呼ばれる装飾が付けられ「御幸乃橋」と刻名されており、平成22年度には河辺浪漫八橋保存会が中心となり屋根葺替え修理が行われました。

坂本龍馬脱藩イベントの舞台としても知られており、多くの龍馬ファンに親しまれています。

(昭和45年3月27日指定)

野鳥

カワラヒワ(川原鶉)
スズメ目 アトリ科
大きさ15cm



ひまわりなどに群れてやって来る、全身の緑色と翼の黄色が目立つかわい小鳥です。また、高いこずえに止まり「キリキリ、コロコロ、ジューン」とよく鳴くので、人里の近くで住んでいるのが確認できます。山間部では早場米が推奨され、盛んに作られるようになりました。ちょうど、頭をたれ始めた頃に頻りにやって来て、未熟の穂をついばむため、厄介者扱いになっています。長い間培われてきた農業形式を変えることで、いままで共存してきた生き物たちとの溝が深まり、問題が発生しているようです。この地球上のすべての生き物が、恩恵を受けられるような平和な社会が、来ないかと願うばかりです。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト⑤

ごんごんちは市長です

銀河鉄道999の始発駅



松本零士先生といえば、「銀河鉄道999」「宇宙戦艦ヤマト」「宇宙海賊キャプテンハーロック」など、宇宙を題材にしたSF漫画の先駆者です。

7月5日、松本零士先生に描いていた新谷小学校の壁画のお披露目がありました。先生の両親は大洲の出身で、戦時中は母親の実家のある新谷に疎開し、小学校の低学年を過ごされました。友達と大自然の中で遊んだ記憶を懐かしがられ、満天の星空の下、神南山の山裾を走る蒸気機関車から銀河鉄道999のイメージを作り上げたとも話されていました。

さまざまな文明は、星空に神話や夢を託してきました。人間では計り知れない世界が宇宙であり、これだけ科学の進んでいる現代でさえ、宇宙の片隅の出

来事しか分からず、宇宙の法則も未解明な部分がたくさんあります。先生が来られた時はちょうど、ビッグス粒子が発見された可能性が高いということ、世界中の物理学者が子どものような笑みを浮かべる様子がニュースで流れていました。先生は「宇宙という大きなスケールのもので、素粒子という小さなスケールのものでまだまだ分からないものがいっぱいあるんですね」と話されていました。

夢を見て、それを現実のものに一歩ずつ近づけていくことが科学の進歩であり、また、新しい発見がその先を夢見ることにつながるのだと思います。昭和20年ころの神南山の星空の風景が、松本零士先生の夢をかき立てた銀河鉄道999の始発駅ではないかと思うのです。

おおずの女性 く輝いて今

「救命救急について」第10期おおず女性塾第2回講座

救急車が到着するまでの応急手当について学ぼうと、「救命救急について」と題した第10期おおず女性塾第2回講座が8月2日(木)、旧図書館4階会議室で開催されました。

おおず女性塾は、活力あふれるまちづくりを進めるための人材育成を図り、いきいきとした男女共同参画社会づくりを推進することを目的に活動を行っています。

今回は、大洲消防署職員を講師に招き、8人の塾生が参加しました。まず、職員から応急手当の重要性について講話を聴き、その後実践を交えた研修を行いました。



職員は、「応急手当に関しては、法律の立場からも実行する人を守るようにできている。応急手当を行うことで、その人が助かる確率はものすごく高くなる。まずは、手探りでもいいので実行してほしい」と述べました。

塾生は、一人ひとり順番にダミーの人形を使い、救急車が到着するまでの応急手当を職員の指示を仰ぎながら行いました。

おおず女性塾は2年に一度、市内の女性を対象に募集を行います。来年度は、第11期塾生を募集しますので、ぜひご応募ください。